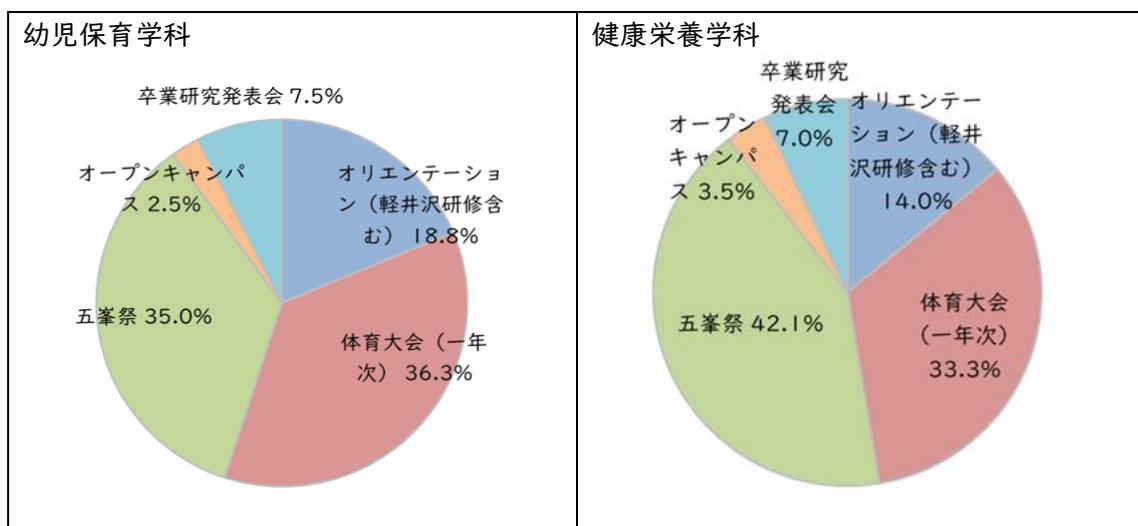


2020年度(令和2年度)卒業生の成長実感・満足度調査結果・分析

本調査は、2020年度(令和2年度卒業生)の卒業年次の成長実感・満足度を卒業直前に調査し、学科の動向を比較するとともに、コロナ禍での学修成果獲得実感度合いを把握し、本学教育内容の一層の充実向上に資するものである。

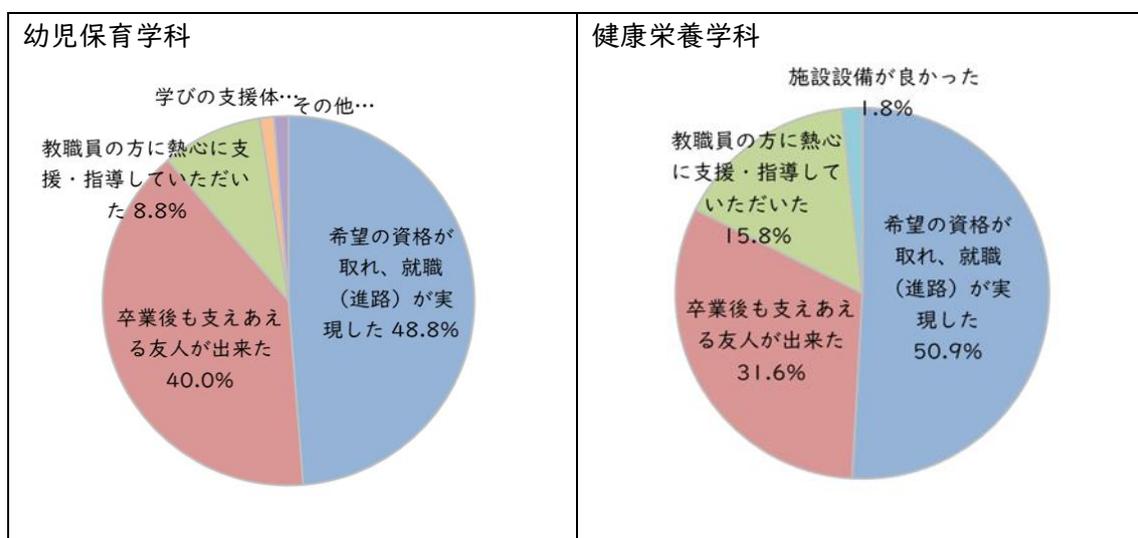
学科名	回答者数／卒業生数	有効回答率
幼児保育学科	80／123名	65.0%
健康栄養学科	57／68名	83.8%
合計	137／191名	71.7%

1.行事のうち、やりがいがあり、楽しく取り組めたものは何ですか。



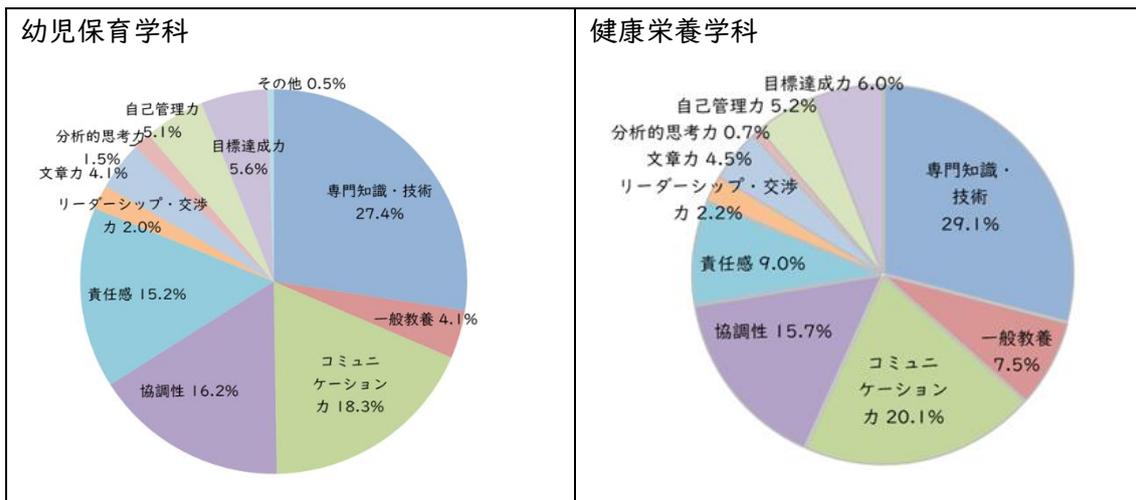
入学年次では、新型コロナウイルスの流行もなく、教育活動・行動制限もなかったため、両学科において、五峯祭(大学祭)、体育大会が上位を占め、特に入学直後の体育大会は多くの友人ができる、互いに協働する体験がやりがい、成長実感となっている。

2.学生生活を振り返って特によかったことは何ですか。



「希望の資格が取得でき、就職が実現した」、「卒業後も支えあえる友人ができた」の2つが両学科ともに8割を占めた。

3. 大学生活の中で最も力がついたと実感するものは何ですか



「専門知識・技術」、「コミュニケーション力」、「協調性」が上位3つに入る。両学科ともに専門資格取得の養成課程であることから大きな相違はなかった。

4. 新型コロナウイルス感染拡大防止対応を通して、学生生活で身についたことは何ですか。(抜粋)

- ・新たな形の動き方が学べた(オンライン授業など)
- ・マスクをしているので、表情を明るくすることが大切なこと。
- ・コロナだからできないではなく、コロナ禍だからこうしてみようよとできることを探すこと
- ・人との関わりの大切さに気づき、様々な方法でコミュニケーションをとった
- ・置かれた環境下で臨機応変に対応すること
- ・PCの使用時間が増えたのでPCスキルがより身についた

● 学生生活の感想や要望、後輩への励ましなど、一言メッセージ(抜粋)

- ・クラスメイトと意見交換をしたり、ひとつの事に一緒に取り組む楽しさを学びました
- ・この2年間は、毎日が充実していてあっという間でした。実習など、大変なこともありましたが、その分成長を実感できた2年間でした。ここで学んだことを活かして頑張っていきたいと思います。
- ・学生支援が充実しており、先生方が熱心に指導して下さいます。
- ・専門的な事だけでなく、1人の人としても成長できるとても良い生活を送れた。
- ・コロナ禍による困難や苦労も多々あると思うが、ピンチをチャンスに変えて乗り越えてほしい。
- ・コロナで大変な1年でしたが、1年生の時は行事など体験できて良かったと思います。課題やレポートが多く、本当に苦しいときもありましたが、目の前のものを一つ一つこなしていくと、少しずつですが、力がついてきました。
- ・なぜ、これをやらなければならないのか?と思うこともありましたが、やった分だけ視野が広がり、世界が広がり、自分の力になることを実感しました。一つ一つ積み上げていくことの大切さを、改めて感じています。
- ・学校生活は自身の成長へと繋がりますが、それは1人の力だけではなく先生方や両親の支えもあると思います。万全なサポートの元、私は充実した2年間を過ごすことが出来ました。
- ・同じ夢を持ち、卒業後も支え合える友人ができたことはとても心強く、嬉しかったです。困ったことがあれば、先生方は親身になって話を聞いて下さったことがとても嬉しかったのを覚えています。
- ・先生たちはいつも味方で居てくれるので、学校生活においてすごく心強いと思います。